

令和 5 年度 国語 科 「現代の国語」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 1 年 A組～ G組
教科書	高等学校 現代の国語（数研出版）	副教材 等	現代新国語辞典（学研）

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

月	育成する資質・能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。など 	読解と論述	水の東西	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語・漢字テスト ・講義形式の一斉授業 ・班学習（話し合い活動） 	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
5		対比の構造			
6		一般論と主張	チェックポイント 1（指示語） 2（文脈の理解） 3（接続語） 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・ペアワーク 	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
7		一般論と主張	「わらしべ長者」の経済学	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語・漢字テスト ・講義形式の一斉授業 ・意見交換 	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
9		実用の文章	文章の構成を工夫して提案する（企画書）	<ul style="list-style-type: none"> ・講義形式の一斉授業 ・個別学習 ・班学習（企画書の作成） 	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
10		期末考査			
9	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。など 	一般論と主張	ポスト・プライバシー	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語・漢字テスト ・講義形式の一斉授業 	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
10		実用の文章	グラフ・実用文の読み方	<ul style="list-style-type: none"> ・班活動（グラフの作成） 	
10		論理とレトリック	コインは円形か	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動 ・重要語・漢字テスト ・講義形式の一斉授業 ・レトリックを意識した文章を実際に書いてみる。 	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
		中間考査			

11	・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。など	具体と抽象	ものごとことば チェックポイント 4（列挙）	・重要語・漢字テスト ・講義形式の一斉授業 ・班活動（日本語と英語の比較） ・小テスト	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
12		視野を広げる	命は誰のものなのか	・ペア活動（考え方の推移）	
		実用の文章	資料を分析して考えをまとめる チェックポイント 5（一文要約） 6（文末表現） 期末考査	・講義形式の一斉授業 ・班活動（資料の分析、活用） ・小テスト	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
1	・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。など	視野を広げる	ズームアップ「自己と他者の理解とは」 他者を理解すること	・班活動（話し合い活動） ・重要語・漢字テスト ・講義形式の一斉授業 ・百字要約	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
2		思考を深める 一関連づけて読む	時を編む人間 ズームアップ「近代と時間の関係」	・重要語・漢字テスト ・講義形式の一斉授業 ・班活動（比較と説明）	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
3			チェックポイント 7（比較） 学年末考査	・小テスト	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析

3 評価の観点

知識・技能	・知識及び技能の習得状況 ・他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念などを理解したり、技能を習得したりしているか。
思考・判断・表現	話すこと・聞くこと、書くこと、読むことを通じて、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身につけているか。
主体的に学習に取り組む態度	自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意志的な側面。

4 評価の方法

ペーパーテスト、論述やレポートの作成、発表・グループでの話し合い、活動の記録を通して、「行動の観察」「記述の点検」「行動の確認」「記述の確認」「行動の分析」「記述の分析」の到達度を元に3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

今年度からの新しい科目です。特に大きな変更点として、「書くこと」の時間が大幅に増えています。自分の考えを、適切な言葉を使って、相手にわかりやすく伝える文章力が求められます。そのためには自分自身の語彙力や表現力が必要不可欠です。わからない言葉はどんどん辞書を用いて検索しましょう。教材を通じて表現方法を知しましょう。
わからないことは恥ずかしいことではありません。授業内に解決できなかった部分は担当者や友達に聞き、先延ばしにしないことが大切です。
また、「どのように学習に取り組むか」という点も重視します。自分の学習状況をきちんと理解して学習の進め方の調整ができるようになりましょう。

令和5年度 国語科「言語文化」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A～G組
教科書	高等学校 言語文化(数研出版)	副教材等	国語便覧(数研出版) 漢字ボックス(浜島書店) 古典文法要点整理ノート(数研出版)

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

(2)生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

(3)言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	受け継がれる古文	『羅生門』	・小説の内容や展開を本文の叙述に基づいて理解する ・〈言語活動〉班学習 『羅生門』と原作『今昔物語集』を比較し、その違いから作品の主題を理解する。 ・主人公の心情や人物像を深く読み取ることで、真理を求める態度と豊かな情操・道徳心をはぐくむ。	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
5	文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	古文の世界を楽しむ	『言語文化と古文』 中間考査	・歴史的仮名遣い、文語のきまりを理解する。 教科書p176～196, 112～113	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
6	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、文化的背景について理解を深め。文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。	日本語の中に生きる漢文	『宇治拾遺物語』 『竹取物語』	・本文の読解を通して、作品の歴史的背景を理解する。 ・歴史的仮名遣い、文語のきまりを理解する。 ・〈言語活動〉班学習による話し合い 『竹取物語』の求婚譚を調べ、作品のもつ興行きを理解する。 ・古くから語り継がれてきた説話文学、我が国最古の作り物語の読解を通して、伝統と文化を尊重しそれらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する精神を養う。	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
7	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	日本語の中に生きる漢文	『言語文化と漢文』 『入門一』 『入門二』 『矛盾』 漢字学習(授業内) 期末考査	・訓読のきまりを理解する。 ・漢文の読解を通して、故事成語の由来を理解する。 ・〈言語活動〉班学習による教え合い 故事成語を辞書などで調べ、本来の意味、転義を学び、それを他の班で教える。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 教科書p34～49, 112～122, 126～127	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
9	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、文化的背景について理解を深め。文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。	現代にも生きる教え	『徒然草』	・古文の読解を通して、作者のものの見方や考え方を理解する。 ・文語のきまりを理解する ・〈言語活動〉班学習 自分の意見を発表する。	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
10	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	詩歌の系譜	『I was born』	・詩の鑑賞の仕方を習得する。 ・詩の技法や鑑賞の方法を学び、想像力を豊かにし、近代詩・現代詩に親しむ。 ・〈言語活動〉班学習 生まれることの意味について思ったことを話し合う。	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	読み継がれる歴史	『先從隗始』 中間考査	・入門で学習した諸事項を確かめながら応用力を養成する。 ・個人の能力や創造性を尊重する価値観の普遍性について考察する。 ・〈言語活動〉班学習 郭隗の巧みさを話し合う。 教科書p50～58, 272～275, 138～139	行動観察 ワークシート分析 読解の確認

11	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	「ことば」を吟味する 平安宮廷文学の世界	『舟を編む』 『枕草子』	・小説の内容や展開を本文の叙述に基づいて理解する。 ・〈言語活動〉班学習による教え合い。 辞書による意味の違いを調べ、発表する。 ・随筆の読解を通して、作者のものの見方や感じ方を理解する。 ・〈言語活動〉班学習 話の面白さについて、話し合う。	行動観察 ワークシート分析 読解の確認 行動観察 ワークシート分析 読解の確認
12	自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。	漢詩の言葉	『漢詩』 漢字学習(授業内) 期末考査	・漢詩のきまりを理解する。 ・漢詩の読解を通して、作者のものの見方や感じ方を理解する。 ・〈言語活動〉班学習による訳詩作り 日本の作家や歌人による訳詩を参考にして、漢詩の訳詩を作り発表し合う。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 教科書p198～212, 74～82, 146～156	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
1	自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方に工夫をしている。	和歌による心の交流	漢字学習(授業内) 『伊勢物語』	・副教材を活用しながら、読み・書きに留まらず、漢字のもつ意味・構成などを学ぶ。 ・古文の読解を通して、我が国の言語文化に特徴的な表現について理解する。	行動観察 ワークシート分析 読解の確認 行動観察 ワークシート分析 読解の確認
2	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論語とその解釈	『論語』	・文語のきまりを理解する。 ・〈言語活動〉班学習 ・折句を使った短歌を作り、班で発表し合う。 ・漢文の読解を通して、古人の主張を理解する。	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
3		詩歌の系譜	『短歌』 『俳句』 期末考査	・〈言語活動〉班学習 「孔子が現代の政治家であったなら、その政治思想を支持するか」という論題で意見文を書き、班で発表し合う。 ・伝統的な我が国の言語文化を理解する。 ・〈言語活動〉班学習 創作を行い、互いに鑑賞する。 教科書p60～73, 158～166, 286～294	行動観察 ワークシート分析 読解の確認

3 評価の観点

知識・技能	(1) 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。(2) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。(3) 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(4) 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。(5) 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。
思考・判断・表現	【書く能力】(1) 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。(2) 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方に工夫をしている。 【読む能力(古典)(近代以降)】(1) 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。(2) 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(3) 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。(4) 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。(5) 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。
主体的に学習に取り組む態度	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。(3)言葉がもつ価値への認識を深めているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から評価規準に従い、総合的に評価します。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

この科目では、様々な文章に触れながら、1年間の学習を通して学習到達目標を達成します。担当者からの指示や説明などをよく聞いて、積極的かつ意欲的に授業に参加して下さい。評価については3つの観点で行います。普段の授業の1時間1時間を大切に下さい。なお、授業だけでなく、活字に触れることが国語の力を向上させるには不可欠です。できるかぎり多くの文章に触れるようにしましょう。

令和5年度 公民「公共」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 1年A～G組
教科書	高等学校新公共（第一学習社）	副教材等	

1 学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 3章 公共的な空間の基本的原理	①社会に生きる私達 ②個人の尊厳 ③多様性と共通性 ④伝統文化の関わり ⑤自立した主体 1 人間と社会のあり方 の見方・考え方 ①人間の尊厳と平等、 個人の尊重 ②法の支配 ③自由・権利と責任・ 義務 ④日本国憲法の基本的 原理 中間考査	・体験を通し、自らを成長させる人間の在り方生き方について理解する。 ・人間は、個人として相互に尊重され、対話を通して互いの立場を理解し合うことのできる社会的な存在であること等について理解する。 ・よりよい公共的な空間を作り出そうとすることが、自らのキャリア形成や、よりよい社会の形成に結び付くことについて理解する。 ・公共的な空間と人間との関わりなどに着目して考える。 ・社会に参画する主体として様々な集団の一員として生き、国家・社会等の公共的な空間を作る存在であることに多面的・多角的に考察し、表現する。 ・公共的な空間について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・選択・判断の手掛かりとして、個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 ・現代の諸課題の解決方法を見いだす為に、人間としての在り方生き方について探求することが重要であることについて理解する。 ・諸資料から必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ・幸福、正義、公正などに着目して考える。 ・倫理的価値の判断を人間としての在り方等を多面的に考察し、表現する。 ・公共的な空間の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・各人の意見や利害を公平に調整することを通して、人間の尊厳と平等を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間の基本的原理について理解する。 ・幸福、正義、公正などに着目して考える。 ・個人と社会との関わりに多面的・多角的に考察し、表現する。 ・公共的な空間の基本的原理で現代の諸課題を解決しようとする。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
6	第2編 自立した主体 1章 法的な主体となる私達 主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利 主題3 司法参加の意義 2章 政治的な主体となる私達 主題4 政治参加と公正な世論形成	①私達と法 ②法と基本的人権 ③自由権と法・規範 ④平等権と法・規範 ⑤社会権と法・規範 ⑥法と権利 ①様々な契約と法 ②消費者の権利と義務 ① 裁判所と司法 ② 国民の司法参加 ①私達と選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政 ⑥地方自治と住民福祉	・法や規範の意義に関わる現実社会の課題等を理解する。 ・諸資料から、必要な情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付ける。 ・幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・事実を基に考察・構想したことを、論拠をもって表現する。 ・法や規範の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・契約と消費者の権利・義務に関わる課題を理解する。 ・諸課題の資料から情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付ける。 ・幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・事実を基に考察・構想したことを、論拠をもって表現する。 ・契約と消費者の権利・義務についての現代の諸課題を解決しようとする。 ・司法参加の意義と現実社会の事柄や課題を理解する。 ・諸課題の資料から情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付ける。 ・幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・事実を基に考察・構想したことを、論拠をもって表現する。 ・司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・諸課題の資料から、情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付ける。 ・幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・解決に向けて事実を基に考察・構想したことを、論拠をもって表現する。 ・政治参加と公正な世論形成の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・国際社会と国家主権に関わる課題等を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
7	主題5 国際社会と	①国家と国際法	・諸課題の資料から情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付ける。	

	国家主権	②国家と領土問題 ③国際連合の役割 期末考査	・国際社会の特徴と課題を、幸福・正義・公正などに着目して考える。 ・事実を基に考察・構想したことを、論拠をもって表現する。 ・国際社会と国家主権の諸課題を主体的に解決しようとする	
9	主題6 日本の安全保障と防衛	①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和	・日本の安全保障と防衛に関わる課題を理解する。 ・諸課題の資料から、情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付ける。 ・幸福・正義・公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・事実を基に考察・構想したことを、論拠をもって表現する。 ・日本の安全保障と防衛についての諸課題を主体的に解決しようとする。 ・国際社会の変化と日本の役割に関わる課題を理解する。 ・諸課題の資料から、情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付ける。 ・国際機関の取り組み等とも関連させ、多面的・多角的に考察し表現する。 ・事実を基に考察・構想したことを、論拠をもって表現する。 ・国際社会の変化と日本の役割の諸課題を主体的に解決しようとする。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
10	主題7 国際社会の変化 3章 経済的な主体 主題8 雇用と労働問題	①私達と経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題 中間考査	・雇用と労働問題の課題を理解する。 ・諸課題の資料から、情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付ける。 ・幸福・正義・公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・事実を基に考察・構想したことを、論拠をもって表現する。 ・雇用と労働問題の課題を解決し、将来のあり方について考えようとする。	
11	主題9 社会の変化と職業観	①日本経済の変遷 ②技術革新の進展 ③現代の企業 ④中小企業の現状 ⑤日本の農林水産業	・社会の変化と職業観に関わる社会の課題を理解する。 ・諸課題の資料から、情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付ける。 ・歴史や情報などの知識もふまえ、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・事実を基に考察・構想したことを、論拠をもって表現する。 ・社会の変化と職業観の課題を解決し、将来のあり方を考えようとする。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
12	主題10 市場経済の機能・限界 主題11 金融のはたらき	①市場経済の運営 ②市場のしくみ ③経済発展と環境 ④国民所得 ⑤経済成長と福祉 ①金融の意義と役割 ②金融のいま 期末考査	・市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・諸課題の資料から情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付ける。 ・幸福・正義・公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・事実を基に考察・構想したことを、論拠をもって表現する。 ・市場経済の機能と限界の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・諸資料から、必要な情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付ける。 ・幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・事実を基に構想したことを、論拠をもって表現する。 ・金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	
1	主題12 財政の役割と社会保障	①財政のしくみと租税 ②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉 ④これからの社会保障	・財政の役割と社会保障に関わる課題を理解する。 ・必要な情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付ける。 ・幸福、正義、公正などに着目して考える。 ・事実を基に構想したことを、論拠をもって表現する。財政の役割と社会保障の諸課題を主体的に解決しようとする。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
2	主題13 経済のグローバル化	①国際分業と貿易 ②国際収支 ③外国為替相場 ④グローバル化経済 ⑤地域的経済統合 ⑥貧困や格差 ⑦地球環境問題 ⑧資源・エネルギー問題	・経済のグローバル化に関わる課題を理解する。 ・必要な情報を適切に収集し、まとめる技能を身に付ける。 ・幸福、正義、公正等に着目し、多面的に考察し、表現する。 ・事実を基に構想したことを、論拠をもって表現する。 ・経済のグローバル化の諸課題を主体的に解決しようとする。	
3	第3編 持続可能な社会	①排出権取引を考える ②プラスチックを考える ③ゲノム編集を考える ④インターネット投票 ⑤フェアトレードを考える 学年末考査	・課題を解決するための知識を理解する。 ・共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだす。 ・幸福、正義、公正等に着目し、多面的に考察し、表現する。 ・論拠を基に自分の考えを説明、論述する。 ・現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	

3 評価の観点

知識・技能	諸課題の解決に向けて、概念や理論等を理解し、諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付けようとしている
思考・判断・表現	諸課題の解決の手掛かりとなる基本的原理を活用して、多面的に考察し、公正に判断したり、構想したことを議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	より良い社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点の評価規準に基づいて総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

忘れ物をしない。提出物の期限を守る。

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科・1年A組～G組
教科書	数学I Essence (東京書籍)	副教材等	CATCH 数学I (東京書籍)

1 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 命題の条件や結論に着目し、数と式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の現象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係に着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し、判断したりする力を養う。

(3) 数学の良さを認識し数学を活用使用とする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 数と式	第1節 式の計算 1 文字を使った式 2 単項式と多項式 3 多項式の加法・減法 4 多項式の乗法 5 乗法公式	<ul style="list-style-type: none"> 式についての用語の意味を理解する。 基本的な計算を行う。 因数分解の公式を利用する。また、式の一部を1つの文字のようにみなしたり、1つの文字について整理するなど、見通しをもって能率よく計算を行う。 	定期考査 行動観察 副教材等
	5		6 因数分解 第2節 実数 1 実数 2 根号を含む式の計算 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 自然数、整数、有理数、無理数の意味や実数について理解する。また、絶対値の定義をもとに、絶対値記号を含む式の計算を行う。 根号を含む式の計算を行う。また、分母の有理化について理解し、基本的な計算を行う。 	行動観察 定期考査
	6	第2章 2次関数	第3節 方程式と不等式 1 1次不等式 2 不等式 3 不等式の性質 4 不等式の解き方 5 不等式の利用 6 2次方程式とその解き方	<ul style="list-style-type: none"> 不等式の意味を理解し、数量の大小関係を不等式で表す。 1次不等式を解く。 数直線を活用した解法とその意味を理解する。 因数分解や解の公式を用いて、2次方程式の解を求める。 	行動観察 定期考査 副教材等
7	第1節 2次関数とそのグラフ 1 関数 2 2次関数とそのグラフ 3 2次関数の決定 期末考査		<ul style="list-style-type: none"> 2次関数 $y=ax^2+bx+c=a(x-p)^2+q$ の形に変形し、そのグラフを利用する。 2次関数のグラフについて与えられた条件から、その2次関数を決定する。 	定期考査 ワークシート 副教材等	
第2学期	9	第3章 三角比	1 2次関数の最大値・最小値 2 2次関数のグラフと2次方程式 3 2次関数のグラフと2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> 2次関数の最大・最小について理解を深め、定義域に応じて最大値や最小値を求める。 2次関数のグラフとx軸の共有点と判別式の符号との関係を理解する。 2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係から、2次不等式の意味を理解し、その解を求める。 	行動観察 定期考査 副教材等
10	第1節 鋭角の三角比 1 鋭角の三角比 2 三角比の利用 3 三角比の相互関係 第2節 三角比の応用 1 正弦定理 2 余弦定理 3 三角形の面積 中間考査		<ul style="list-style-type: none"> 正弦、余弦、正接の意味を理解し、30°、45°、60°の三角比の値を求め、活用する。 三角比の相互関係について理解する。 余弦定理を理解し、三角形の辺と角の間の関係について理解を深める。また、既知の辺や角から残りの辺や角を求める。 条件に応じて正弦定理や余弦定理を活用し、三角形の面積を求める。 		

	11	第4章 集合と論証	4 三角比と座標 5 三角比の相互関係 6 鈍角の三角比と計量	<ul style="list-style-type: none"> • 180° まで拡張した三角比の定義を理解し、鋭角の場合と矛盾がしないことを確認する。 • 鈍角の三角形の辺や角を求める。 • 三角比を空間図形の計量に活用する。 	行動観察 定期考査
	12		第1節 集合と論証 1 集合 2 命題と集合 3 命題と証明	<ul style="list-style-type: none"> • 集合と要素、集合の表し方、部分集合について学び、図表示などを用いて集合の包含関係、共通部分と和集合、空集合について理解する。 • 命題と条件、必要条件、十分条件、必要十分条件などの用語の定義を学ぶ。 • 命題の逆、裏、対偶について理解し、対偶を用いた証明法や背理法による証明法を学ぶ。 	
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第5章 データの分析	第1節 データの分析 1 データの整理と分析 2 データの散らばり 3 相関関係 4 データにもとづく考え方	<ul style="list-style-type: none"> • データの分布の特徴を表す値として、平均値をもとにした分散、標準偏差を理解し、それを求める。 • 2つの変量の組を散布図に表すことによって、2つの変量の相関関係を調べる。 	行動観察 定期考査
	2				
	3				
			学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	命題の条件や結論に着目し、数と式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりしている。図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現している。関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察している。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断している。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性が見られる。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>数学はいろいろな表現方法をとおして、理論的な道筋をたどる遠足のようなものです。道に迷ったら、分かるところまで戻って、もう一度地図(教科書)をみれば、行き先がどちらかが分かります。道先案内人(教師や友達)に尋ねてくれてもOKです。大事なのはすぐにあきらめず時間をかけて、落ち着いて取り組むことです。数学は時間さえかければ必ず解決する教科です。目的地に着いた時の喜びもひとしお、我々と一緒にいろんな旅にでかけましょう。</p> <p>数学の授業では、問題が解けるようになることも大切ですが、話を聞く態度や積極的に授業に取り組むという姿勢が重要です。難しい問題が今後たくさん出てくるかもしれませんが、真正面から向き合い、一つひとつ乗り越えていきましょう。</p>

12		3節 空間図形 期末考査	求める。 ・円と2本の直線がつくる線分の長さの関係を考察し、方べきの定理が成り立つことを理解し、それを用いて線分の長さを求める。 ・2つの円の位置関係を理解し、共通接線の数を求める。 ・2直線, 2平面, 直線と平面の位置関係を理解する。 ・多面体, 正多面体を理解し、空間図形に対する見方を豊かにする。 教科書 p 86～94	ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・観察
1	3章 数学と人間の活動	1節 数える	・古代エジプトの記数法や漢数字による記数法の欠点を理解し、5個ずつまとめるという規則で、そのような欠点のない記数法ができないか考察する。 ・5進法について理解し、5進法と10進法の変換を行うことや、5進法と10進法を対比して見ることで、記数法に対する理解を深める。 ・5進法, 10進法の考えを一般化したn進法について理解し、その一例である2進法については、10進法との変換もする。	ノート・観察 ノート・観察
2		2節 測る・量る	・互除法が、2つの量について、その2つの量を両方とも割り切る量を求める方法であることを理解する。 ・ユークリッドの互除法を理解し、これを用いて2つの正の整数の最大公約数を求める。 ・和算に見られる測定の工夫が、ユークリッドの互除法から導かれることについて理解する。	ノート・ワークシート ノート・ワークシート
		3節 位置を示す	・平面上の点の位置を表す座標の考え方を理解する。 ・平面上の座標の考えを空間内の座標へ拡張し、それを利用して、ペンローズの三角形などのふしぎな図について考察する。	ノート・ワークシート ノート・観察
3		4節 遊ぶ	・3D CG への利用を見ることで空間座標のよさを知る。 ・覆面算を解くことで、順序立てて考えることのよさを知る。 ・カリの三角形について調べることで、座標のよさを知る。 ・ハノイの塔の問題を解くことで、規則性を考えることのよさを知る。 ・帽子の色当てパズルを解くことで、論理的に考えることのよさを知る。	ノート・観察 ノート・ワークシート ノート・ワークシート ノート・ワークシート
		学年末考査	教科書 p 95～125	ノート・ワークシート 小テスト

3 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を身に付けている。 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付けている。 数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。
主体的に学習に向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

4 評価の方法

知識・技能, 試行・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

数学は理論的な道筋をたどる遠足のようなものです。道に迷ったら、分かるところまで戻って、もう一度地図(教科書)をみれば、行き先がどちらかが分かりますし、道先案内人(教師や友達)に尋ねてくれてもOKです。大事なのはすぐにあきらめず時間をかけること。数学は時間さえかければ必ず解決する教科です。目的地に着いた時の喜びもひとしお、我々と一緒にいろんな旅にでかけましょう。

数学の授業では、問題が解けるようになることも大切ですが、話を聞く態度や積極的に授業に取り組むという姿勢も大切にしていきたいです。難しい問題が今後たくさん出てくるかもしれませんが、真正面から向き合い、一つ一つ乗り越えていきましょう。

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・1年・A～G組
教科書	高等学校 新化学基礎	副教材等	なし

1 学習の到達目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第1学期	4	序章 化学と人間生活	化学と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会を支える身近な物質に注目し、これらの物質の性質を調べる活動を通して、物質を対象とする学問である化学の特徴について理解する。 科目の導入として化学への興味・関心を高める。 	行動観察 ワークシート 実験レポート	
	5	第1章 物質の構成	第1節 物質とその構成要素 ①物質の分離(1) ②物質の分離(2) ③物質を構成する元素 ④元素の確認 ⑤物質の三態	<ul style="list-style-type: none"> 身近な物質を取り上げ、混合物から純物質を分離したり精製したりする実験などを行い、実験における基本操作と科学的に探究する方法を身につける。 身近な物質を取り上げ、元素を確認する実験などを行い、単体や化合物について理解する。 粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係により、物質の状態変化が起こることを理解する。 	行動観察 ワークシート 実験レポート 小テスト	
	6		中間考査	教科書P4～P31		
	7		⑥原子のなりたち ⑦同位体とその利用 ⑧原子の電子配置 ⑨元素の周期律と周期表 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解する。 元素の周期律および原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。 	行動観察 ワークシート 実験レポート 小テスト	
第2学期	9	第1章 物質の構成	第2節 化学結合 ①イオン(1) ②イオン(2) ③イオン結合 ④イオンからなる物質 ⑤共有結合(1) ⑥共有結合(2) ⑦分子の極性 ⑧分子間に働く力 ⑨分子からなる物質 ⑩共有結合の結晶 ⑪金属結合と金属結晶	<ul style="list-style-type: none"> イオンの生成を電子配置と関連付けて理解するとともに、イオン結合がイオン間の静電的な引力による結合であることや、イオン結合でできた物質の性質を理解する。 共有結合を電子配置と関連付けて理解する。 共有結合でできた物質の性質を理解する。 金属結合は自由電子が介在した結合であることを理解する。 金属結合でできた物質の性質を理解する。 	行動観察 ワークシート 実験レポート 小テスト	
	10		中間考査	教科書P46～P79		
	11	第2章 物質の変化	第1節 物質と化学反応式 ①原子量 ②分子量・式量 ③物質と粒子の数 ④物質と質量 ⑤物質と気体の体積 ⑥溶解と濃度 ⑦化学反応式(1) ⑧化学反応式(2) ⑨化学反応の量的関係 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 粒子の数にもとづく量の表し方である物質の概念を導入し、物質と質量、物質と気体の体積との関係について理解する。 化学反応に関する実験などを行い、化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表わすことなどを見いだして理解する。 	行動観察 ワークシート 実験レポート 小テスト	
	12			教科書P80～P115		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第2章	第2節 酸・塩基とその反応 ①酸と塩基 ②酸・塩基の強弱 ③水素イオン濃度とpH ④pHの測定 ⑤中和と塩 ⑥中和の量的関係 ⑦中和滴定 ⑧中和滴定曲線	<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基の持つ性質を学ぶ。 酸と塩基の強さの違いを学ぶ。 酸性～塩基性の強さを数値化して比較する方法を学ぶ。 酸と塩基を混合することで起こる化学変化と生成物の性質を学ぶ。 中和反応における酸と塩基の物質質量や価数の関係を学ぶ。 	行動観察 ワークシート 実験レポート 小テスト
	2		第3節 酸化還元反応 ①酸化と還元 ②酸化数 ③酸化剤と還元剤(1) ④酸化剤と還元剤(2) ⑤金属のイオン化傾向 ⑥金属の反応性 ⑦電池 ⑧電気分解	<ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応がどのような反応であるのか、電子の授受によって定義し、それらの反応を扱いやすくするための取り決めを学ぶ。 身近な物質を取り上げ、酸化還元反応の生活の中での利用例を電子の授受と結びつけながら学ぶ。 金属がイオンになろうとする性質の強弱と電子の授受とを結びつけ、電池の基本的な原理を学ぶ。 	行動観察 ワークシート 実験レポート 小テスト
	3	終章 化学が拓く世界	<ul style="list-style-type: none"> 水道水について考えよう 食品の保存について考えよう 洗剤について考えよう リサイクルについて考えよう 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> 「化学基礎」で学んだ事柄が、日常生活や社会を支えている科学技術と結びついていることを理解する。 教科書P116～P175	行動観察 ワークシート 実験レポート 小テスト

3 評価の観点

知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけている。
思考・判断・表現	物質とその変化についての事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解しようとするとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけようとする。観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養おうとする。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

原子や分子を扱う科目です。1つひとつの粒子は目には見えませんが、理論や計算を通して粒子の存在が実感できるように努力してみてください。

計算は、掛け算・割り算・足し算・引き算がほとんどですが、まだ数学の授業で取り上げていない計算も出てきます。簡単に説明したうえで道具として使っていきますので、理解することをあきらめないでください。

観察や実験は遊びではありません。安全が確保できないと判断した場合には実施を取りやめます。

教科書に沿って授業を進めます。進級して「化学」を選択する場合、この授業で使用した教科書を使うことがありますので、捨てずにとっておきましょう。

令和5年度 保健体育科 「体育」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A～G組 男女
教科書	現代高等保健体育（大修館）	副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）

1 学習の到達目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	H「体育理論」	1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ	スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることや、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることについて理解する。	行動観察 学習カード
		A「体づくり運動」	(1) 体ほぐし運動	・体ほぐし運動の意義について理解する。 ・ペアストレッチ	行動観察
	5	E「球技」	ア ゴール型 バスケットボール	・ルールについて理解する。 ・ピポット、ドリブル ・チェストパス、バウンドパス ・レイアップ、セット、ジャンプシュート ・ゲーム（2対2、3対3、4対4、5対5） ・作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさを味わう。	行動観察 学習カード スキルテスト
		C「陸上競技」 ア 競走	(1) 短距離走 (2) リレー	・50m走の記録測定、スタート、中間疾走、フィニッシュ・記録を高める楽しさを味わう。 ・バトンゾーン ・バトンパス ・コーナーのランニング ・仲間と協力して記録を高めることの楽しさを味わう。	行動観察 学習カード 記録測定
	7	イ 跳躍	(1) 走り幅跳び	・踏み切りの仕方 ・空中での姿勢 ・着地の仕方 ・遠くへあるいは高く跳び、記録を高める楽しさを味わう。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	H「体育理論」	3 オリンピックとパラリンピックの意義 4 スポーツが経済に及ぼす効果	・オリンピックの意義と役割 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることについて理解する。	行動観察 学習カード
		A「体づくり運動」	(1) 実生活に生かす運動の計画	・パワー系トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、馬跳び）	
	10	E「球技」 イ ネット型	卓球	・ルールについて理解する。 ・ラリーを続ける事の楽しさや、協力してプレーすることの喜びを味わう。 ・フォアハンド、バックハンド ・ボレー、サーブ、スマッシュ ・ゲーム（シングルス、ダブルス） ・相手の動きや打球に対応しゲームをできるようにする。	行動観察 学習カード スキルテスト

	11	E「球技」 イ ネット型	バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> ・オーバーハンドパス、アンダー ・ハンドパス、レシーブ ・スパイク、サーブ ・作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさを味わう。 	行動観察 学習カード スキルテスト
		ウ ベースボール 型	ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールについて理解する。 ・打つ（構え、スイング） ・投げる（オーバースロー） ・キャッチング（構え、ステップ、グラブの使い方） ・ゲーム（9対9） ・攻撃側と守備側とに分かれ、攻防を交替しながら得点を競い合う楽しさや喜びを味わう。 	行動観察 学習カード スキルテスト
12					
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	H「体育理論」	5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ドーピング問題について理解する。 <p>スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることについて理解する。</p>	行動観察 学習カード
	2	A「体づくり運動」	(2)実生活に生かす運動の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・体力を高めることの重要性について理解する。 	行動観察
		C「陸上競技」 ア 競走	(2)長距離走	<ul style="list-style-type: none"> ・自己に適したペースで走り続ける ・足の運び方について ・腕の振り方について ・呼吸法について 	行動観察 学習カード スキルテスト

3 評価の観点

知識・技能	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。

4 評価の方法

<p>主体的に学習に取り組む態度については、授業参加への意欲・行動観察。学習カードの記載内容からの読み取り。 思考・判断・表現については、授業での行動観察。学習カードの記載内容からの読み取り。 知識・技能については、授業への参加の仕方や態度の観察（ゲーム時のルール理解）。学習カードやスキルテストからの読み取り。</p> <p>以上、3観点から総合的に評価する。</p>

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>①授業開始時刻、服装、授業規律、整列体系などをしっかりと守り行動しましょう。（集団行動） ②得意・不得意、上手いか下手かよりも、授業を通して「どれだけ成長したか」が大切です。全力で取り組むことはもちろん、上手な人のマネをすることや、自分の課題を考え、工夫して授業に取り組みましょう。 ③生涯を通じて好きなスポーツに巡り合えるように、運動の仕方は勿論のこと、競技会や記録会の企画・運営の仕方、仲間の応援など基本的な事項も身に付けることができるような授業を行います。 ④命に係わる授業になります。危険から身を守るためのルールや、感染症対策など、先生の指示をよく聞き、徹底するようにしましょう。</p>
--

令和5年度 保健体育科 「 保健 」 シラバス

単位数	1 単位	学科・学年・学級	普通科・1学年・A～G組
教科書	現代高等保健体育（大修館）	副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）

1 学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1単元 現代社会と健康	1. 健康の考え方と成り立ち	わが国の現在の健康水準や健康問題の変化、および今日の健康課題について学ぶ。健康の成立要因をふまえて、自分なりの健康の捉え方について考える。	行動観察 保健ノート分析 授業プリント分析 テスト
			2. 私たちの健康のすがた		
			3. 生活習慣病の予防と回復		
	5		4. がんの原因と予防	わが国の死因の第1位となっているがんについて、その種類、原因、予防、治療について学ぶとともに、社会的対策の現状と必要性について考える。	行動観察 保健ノート分析 授業プリント分析 テスト
			6	5. がんの治療と回復	
	7			6. 運動と健康	
			7. 食事と健康		
	8. 休養・睡眠と健康		※授業で使用する保健ノートや授業プリントを整理し、提出する。		
期末考査					
第2学期	9	9	9. 喫煙と健康	喫煙、飲酒、薬物乱用が心身にもたらす健康問題と社会問題について学ぶとともに、それらの問題を改善するための、個人や社会の対策について考える。	行動観察 保健ノート分析 授業プリント分析 テスト
			10. 飲酒と健康		
			11. 薬物乱用と健康		
	10		12. 精神疾患の特徴	おもな精神疾患と要因、予防と治療、また精神保健の今日的課題について学ぶとともに、精神疾患の適切なケアのための社会環境について考える。	行動観察 保健ノート分析 授業プリント分析 テスト
			13. 精神疾患の予防		
	11		14. 精神疾患からの回復	おもな精神疾患と要因、予防と治療、また精神保健の今日的課題について学ぶとともに、精神疾患の適切なケアのための社会環境について考える。	
			15. 現代の感染症		
	12		16. 感染症の予防		
			17. 性感染症・エイズとその予防	※授業で使用する保健ノートや授業プリントを整理し、提出する。	
	期末考査				

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1		18. 健康に関する意思決定・行動選択	健康の保持増進のための意思決定・行動選択の重要性と影響する要因について学び、よりよい意思決定・行動選択の方法や工夫の仕方について学ぶ。また健康づくりには、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりが重要であることを学ぶ。	行動観察 保健ノート分析 授業プリント分析 テスト
			19. 健康に関する環境づくり		
	2	2 単元 安全な社会生活	1. 事故の現状と発生要因	わが国の不慮の事故の実態と事故発生に関連する要因について学ぶとともに、安全な社会を形成するための個人や社会の対策について考える。また、交通事故の防止の観点から、運転者の責任、個人や社会の対策等について考える。	
			2. 安全な社会の形成		
			3. 交通における安全		
			4. 応急手当の意義とその基本		
	3		5. 日常的な応急手当	けがや急病に対する応急手当の意義や方法について学び、日常的な応急手当ができるようにする。また、心肺停止状態の人の命を救うために行う心肺蘇生法の意義と方法を学び、実習を通して正しく実施できるようにする。	
			6. 心肺蘇生法		
			学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	現代社会と健康、安全な社会生活について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解するとともに、心肺蘇生法等を実施できる。
思考・判断・表現	現代社会と健康、安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	現代社会と健康、安全な社会生活について、主体的にねばり強く学習に取り組もうとしている。

4 評価の方法

<p>主体的に学習に取り組む態度については、授業参加への意欲・行動観察。保健ノート、授業プリント記載内容からの読み取り。 思考・判断・表現については、授業での行動観察。保健ノート、授業プリントの記載内容からの読み取り。 知識・技能については、学期ごとの考査点。スキルテスト。保健ノート、授業プリントの記載内容からの読み取り。</p> <p>以上、3観点から総合的に評価する。</p>

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>「保健」という科目は、「健康を保つ」ことを取り扱う授業で、毎週1時間の授業が行われます。健康問題がSNSなどのネットをはじめ、TV新聞等で様々な媒体で多くの情報が氾濫する世の中で、正しい情報を取り入れ適切な生活行動を選択できるようになることが求められています。</p> <p>「保健」では、自分や家族の健康を保持増進するための基本的な事項を理解するだけでなく、日常生活の中の課題を見つけ出し、解決の方法を導き出すことができるような授業を展開します。習ったことを実生活で取り入れていくのも記憶に残りやすく、定期考査に向けて効率的な勉強法になるかもしれません。</p> <p>「保健」は必修科目のため、欠席が多いと法律によって進級ができなくなります(欠時オーバー)。また、週1時間しかないため、あっという間に「欠時オーバー」になりやすいです。学期に1回しかないテストで点数をとること、提出物を遅れず出すこと、板書だけでなく先生の言葉もノートにメモするなど、まんべんなくがんばりましょう。積極的な参加が好成绩につながります。</p>

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・1年・A～G組選択者
教科書	ON! 1 (音楽之友社)	副教材等	

1 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音が的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	発声	発声法	・正しい発声法、呼吸法を習得する。	観察・聴取
		歌唱	「校歌」	・音程、リズムを正しく表現できるようにする。	観察・聴取
	5	表現	「You can do it!」	・歌詞をしっかりと覚え、暗譜で歌えるようにする。 ・ボディ・パーカッションを用いて表現できるようにする。	観察・聴取 課題進捗状況
	6	歌唱テスト	「校歌」	・グループを作り、グループごとに暗譜で発表する。	小テスト 演奏発表
	7	表現テスト	「You can do it!」	・ボディ・パーカッションを用い、グループごとにリズムを創作し発表する。	小テスト 演奏発表
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	発声	ドイツ歌曲「野ばら」	・短い曲ではあるが、正しい音程で歌えるようにする。まずは日本語で。 ・ドイツ語の発音を学び、ドイツ語で歌えるようにする。 ・一人一人に合った調性で歌わせる。	観察・聴取 観察・聴取 課題進捗状況
	10	器楽	リコーダー	・アルト・リコーダーを初めて手にする生徒が多くいるので、運指習得に時間をかける。 ・運指表を作成し、正しい運指を身に付けさせる。 ・音階（2オクターブ）を吹けるようにする。	観察・聴取 観察・聴取
	11	鑑賞	ミュージカル「アニー」	・DVDを用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	ワークシート
	12	歌唱テスト 器楽テスト	「野ばら」 リコーダー音階	・演奏会形式での独唱で行う。原語のドイツ語で暗譜での発表とする。 ・2オクターブの音階の上行形と下行形の往復で行う。	実技テスト 実技テスト

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	器楽	リコーダー・アーティキュレーション	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの奏法の基本を習得する。 アーティキュレーション4つの奏法を区別し、表現できるようにする。 	観察・聴取 観察・聴取 課題進捗状況
	2	鑑賞	ミュージカル「メリー・ポピンズ」	<ul style="list-style-type: none"> DVDを用いてミュージカルの鑑賞をする。 鑑賞後に感想文を書く。 	ワークシート
	3	器楽テスト	リコーダー	<ul style="list-style-type: none"> アーティキュレーションの課題曲を演奏する。 	実技テスト

3 評価の観点

知識・技能	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化の知識を深め、身に付けた技術で表現できるようにする。
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを思考、判断しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。
主体的に学習に取り組む態度	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして音楽に対する理解を深め、主体的に授業に参加していく。

4 評価の方法

<p>「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。</p>
--

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>音楽の表現において大切なことは、上手か下手かよりも音楽の一部になれるかどうかだと思います。</p> <p>なんとなく覚えて演奏するのではなく、音楽のルール（拍や音の高さなど）も感じましょう。</p> <p>共通のルールの中で友人とアンサンブルすると、より一体感を体験できるでしょう。</p> <p>音楽には、色々な心が込められています。また、心を込めることもできます。</p> <p>心のコもった音楽はとても美しいと思いますので、心を大切にしましょう。</p> <p>楽器や楽譜を大切にしましょう。道具を大切にすることは、よりよい心と繋がっていくと思います。</p> <p>何かわからないことがあったら、その日のうちに解決しましょう。質問をする、調べる等、色々な方法があると思います。</p> <p>音楽は実技科目です。その時間を大切に過ごさないと意味がありません。毎時間、みんなと一緒に参加しましょう。</p>

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・1学年・A～G組選択者
教科書	高校生の美術1（日本文教出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	●オリエンテーション ●教科書を見る	○授業の姿勢や注意事項の確認 ○教科書の作品の鑑賞	・中学校で学んだことを確認し、多様な美術表現を学び美術 I の学習イメージを持つ。 ・教科書内の作品を鑑賞して、幅広い表現方法を理解し、興味を持つ。	・授業参加状況 ・ワークシート ・授業参加状況 ・ワークシート
	5	●鉛筆表現	○美術における鉛筆表現基礎基本の学習 ・鉛筆の種類と使用方法	・美術の表現活動において基礎となる「描く」鉛筆の技能を学習して、観察力・表現力を高める。 ・道具の基礎的な使用方法を学習する。	・授業参加状況 ・小作品 ・課題作品
	6	●鉛筆表現	・鉛筆実習 明暗の表現 基礎立体のクロッキー ○自画像制作	・鉛筆に関する基礎技術を学習する。 ・座学や実習での学習を活かし自画像制作を行う。	・授業参加状況 ・小作品 ・課題作品
	7	●鑑賞	○作品の鑑賞・作品展示	・制作した作品を鑑賞して、他者の表現や工夫を感じ取り、良さや美しさを見つける。 ・有名作品の鑑賞を通して美術への理解を深め、作品の構成や工夫、良さや美しさを感じ取る。	・授業参加状況 ・ワークシート
第2学期	9	●色彩表現	○色彩についての基礎知識・技能の学習 ・色彩学 暖色寒色 色の三原色 色の三属性 色彩調和の基本 配色による効果・錯覚	・自身の意図する表現ができるように、色彩を中心に配色や色の持つ効果を学習する。 ・色彩についての基礎知識を学習する。	・授業参加状況 ・ワークシート
	10		・色彩実習 アクリル絵具の基本 グラデーション 配色で伝える	・基本的な絵の具の技能を学習する。また、色彩の知識を実習で確認する。	・実習作品

第2学期	11	●色彩表現	・課題作品制作	・色彩の知識や実習の内容を活用して、課題作品を制作する。	・授業参加状況 ・課題作品
	12	●鑑賞	○作品の鑑賞・作品展示	・制作した作品を鑑賞して、他者の色彩表現や配色の工夫を感じ取り、良さや美しさを見つける。 ・有名作品の鑑賞を通して美術への理解を深め、作品の構成や工夫、良さや美しさを感じ取る。	・授業参加状況 ・ワークシート
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	●立体表現	○立体造形の基礎知識・技能の学習 ・立体物の基礎知識 ・木材、粘土実習	・物体の立体感や質感、多面的な見方や考え方を身に着けるため、立体表現の基礎知識技能を学習する。 ・作品の多面的な見方や、社会における立体作品の役割を理解するため、立体造形に関する知識を学習する。 ・実際に木材又は粘土を使用し、基礎的な表現方法や道具の扱いを学習する。	・授業参加状況 ・ワークシート
	2		・課題作品制作	・学習した内容を活用して課題作品制作を行う。	
	3	●鑑賞	○作品の鑑賞・作品展示	・制作した作品を鑑賞して、造形の工夫や作品に込めた思いを感じ取り、良さや美しさを見つける。	・課題作品

3 評価の観点

知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
思考・判断・表現	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- ・授業に出席、参加することが大切です。実技教科のため授業参加状況が重視されるため、できるだけ出席しましょう。
- ・ただ課題を提出するのではなく、取り組む態度や計画通りに制作を進めること、また後片付けも評価の対象になります。
- ・上手下手にとらわれず、丁寧に心のこもった作品制作を心がけましょう。作品完成も大切ですが、制作の中で何を考え何を感じたかも重要です。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・1学年・A～G組選択者
教科書	光村図書「書Ⅰ」	副教材等	

1 学習の到達目標

<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
--

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	書写と書道の違い	書体の変遷 文房四宝 表現の方法	書写から書道の違いを把握させ、書体がどのように今の形へと変わったのか理解させる。文房四宝の意味と種類によってどのように変わってくるかを様々な用具・用材で試してみる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	5	楷書の学習	九成宮醜泉銘 孔子廟堂碑	楷書の古典作品の中でも代表的な作品の特徴と線質・書風を学び、理解したうえで臨書する。作者の表現方法により作品が変わることを理解したうえで臨書をさせる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	6		雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛欄造像記 論經書詩	楷書の古典作品の中でも代表的な作品の特徴と線質・書風を学び、理解したうえで臨書する。作者の表現方法により作品が変わることを理解したうえで臨書をさせる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	7	一学期まとめ		一学期に勉強した古典の中から好きな古典を選択し、臨書する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
第2学期	9	行書の学習	行書の特徴を捉える 蘭亭序 風信帖	行書の成立、楷書との違いや特徴を理解する。今まで行書だと思っている整った行書はまだ確立されていないがこの蘭亭序こそ行書の完成といえることを知る。 風信帖のスピードの緩急によるにじみ擦れを感じ取り臨書をする。 擦れもひとつの表現だということを認識する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞 興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	10	草書の学習	真草千字文	草書の成立や崩し方、特徴を理解する。古典作品の臨書する箇所がどのような文字なのかを理解したうえで臨書を行う。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	仮名の学習	仮名の成立と特徴 いろは歌 蓬萊切 高野切第三種	仮名が日本独自の文化であることを草書の崩し方をもとにして日本人が考えたものだと日本の歴史から理解させる。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	12	二学期まとめ		二学期で勉強した古典の中から好きな古典を選択し、臨書する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
第3学期	1	半切作品臨書	表現の方法と制作	今まで勉強してきた臨書作品から書きたい古典の臨書をさせる。半切作品の臨書は初めてのため、半切での作品制作の仕方を最初に説明し、紙面構成についてももう一度理解する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	2	漢字かな交じりの学習	用具・用材の工夫 表現の仕方	自分のお気に入りの詩や歌詞を選択し、今まで勉強してきた臨書作品をベースとし、漢字を決める。その漢字に合わせた平仮名を上手く組み合わせた作品を制作する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	3				

3 評価の観点

知識・技能	書を表現するために必要な知識や技能を身に付け、多様な表現を自分の意図したまますることができるか。
思考・判断・表現	書活動をする中で発想や感性から構想し、最終的な自分自身の課題を捉えることができるか。書の伝統文化を理解し、書を芸術という観点から捉え考察することができるか。
主体的に学習に取り組む態度	書道の伝統性や表現方法の多様さに興味・関心を持ち、積極的に書活動へ取り組もうとしているか。

4 評価の方法

書道に対する知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

書道は、古来から続く日本の伝統文化であり人格の完成に必要な不可欠な創造力を養うことができます。沢山の古典作品を主体的に鑑賞することにより発想力や表現方法を豊かなものにします。また発想を自分の力で制作することで力の可能性を広げることができます。時間厳守や作品提出期限厳守、道具を大切に扱うなどのモラルを徹底するようにします。授業中は私語を慎み、集中して作品制作に努めるようにします。
--

令和5年度 外国語科「英語コミュニケーションⅠ」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A組～G組
教科書	VISTA English Communication I(三省堂)	副教材等	VISTA I Workbook(三省堂)、チャンクで英単語Basic(三省堂) エースクラウン英和辞典(三省堂)

1 学習の到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。

(1) 聞くこと
日常的・社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

(2) 読むこと
日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。

(3) 話すこと【やりとり】
日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。

(4) 話すこと【発表】
日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

(5) 書くこと
日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して書いて伝えることができるようにする。

2 学習の計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	領域					評価項目 数	主な評価規準 (評価方法)		
				評 価 の 観 点	聞 く	読 む	取 り	発 言			書 き	
4	中学校で学んだ基本的な文法事項を「読むこと」「書くこと」を通じて学び、理解することができる。	Get Ready! のちのちの英文法	・アルファベット・品詞を学ぶ	知	○			○	6	活動の観察 ワークシート		
		Lesson1 Colors of spring	・be動詞・一般動詞の現在形を学ぶ ・[L]春についての概要や要点、必要な情報を聞き取る ・[R]春についての対話を読み、概要や要点を把握する ・[Sや]春について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う	知	○	○	○	○			12	活動の観察 ワークシート
		Lesson2 Dick Bruna	・be動詞・一般動詞の過去形を学ぶ ・[L]ディック・ブルーナさんについての概要や要点、必要な情報を聞き取る ・[R]ディック・ブルーナさんについての対話を読み、概要や要点を把握する ・[S発]キャラクターや本について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを発表する	知	○	○	○	○				
中間 考 査	中間 考 査	知	○			○	4	リーディング力を評価 する複合問題 ライティング力を評価 する複合問題				
6	おもしろいスポーツについて、「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、とあるスポーツについて、グループを作り、調べたことを「話すこと(やりとり)」ができる。	Lesson 3 Interesting Sports	・現在進行形を学ぶ ・[L]おもしろいスポーツについて、概要や要点、必要な情報を聞き取る ・[R]おもしろいスポーツについての対話を読み、概要や要点を把握する ・[Sや]おもしろいスポーツについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考にグループで調べ、まとめたことを話して伝え合う	知	○	○			○	○	12	活動の観察 ワークシート
		Enjoy Communication	・[L]買い物の場面で使われる表現を聞き取る ・[Sや]買い物の場面を想定しながら、基本的な語句や文を用いて、質問したり、断ったりする	知	○	○			○	○		
7	ピクトグラムが国際社会で果たす役割を「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、自分の好きなことや趣味について「話すこと(やりとり)」「話すこと(発表)」で伝えることができる。	Lesson 4 Pictograms	・助動詞/動名詞を学ぶ ・[L]ピクトグラムについて、概要や要点、必要な情報を聞き取る ・[R]ピクトグラムの役割について読み、概要や要点を把握する ・[S発]趣味について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを発表する	知	○	○	○	○	12	活動の観察 パフォーマンステスト ワークシート		
		Challenge Yourself!	・[L]ジェスチャーについての説明から、概要や詳細を聞き取る ・[Sや]ジェスチャーについての説明を完成させ、友だちに伝える	知	○	○	○	○			9	活動の観察
期 末 考 査	期 末 考 査	期 末 考 査	知	○			○	4	リーディング力を評価 する複合問題 ライティング力を評価 する複合問題			
			思	○			○					
			態									

9	岩合光昭さんの動物と自然への思いを「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、ネコ/職業/自然について、意見を「話すこと(やりとり)」で交換することができる。	Lesson 5 We are part of nature	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞を学ぶ [L]岩合光昭さんへのインタビューについての概要や要点、必要な情報を聞き取る [R]岩合光昭さんへのインタビューを読み、概要や要点を把握する [Sや]ネコ/職業/自然について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを話して伝え合う 	知	○	○	○	○	12	活動の観察 ワークシート	
	自然保護を呼びかけるポスターについて、「話すこと(やりとり)」を通じて学び、ポスターの提案理由について「書くこと」で伝えることができる。	Challenge Yourself!	<ul style="list-style-type: none"> [Sや]ポスターについて基本的な語句や文を用いて、意見を交換することができる。 [W]ポスターの提案理由について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを書くことができる 	知	○	○	○	○			12
10	マチュ・ピチュについて「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、マチュ・ピチュ/野菜について「話すこと(やりとり)」ができ、旅行について「話すこと(発表)」で伝えることができる。	Lesson 6 Machu Picchu	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形を学ぶ [L]マチュ・ピチュについての概要や要点、必要な情報を聞き取る [R]マチュ・ピチュについての対話を読み、概要や要点を把握する [Sや]マチュ・ピチュ/野菜について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを話して伝え合う [S発]旅行について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを発表することができる 	知	○	○	○	○	15	活動の観察 パフォーマンステスト ワークシート	
	絵はがきについて「話すこと(やりとり)」を通じて学び、便りで伝えたいことを「書くこと」で伝えることができる。	Challenge Yourself!	<ul style="list-style-type: none"> [Sや]絵はがきについて基本的な語句や文を用いて、意見を交換することができる。 [W]便りについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを書くことができる 	知	○	○	○	○			12
中間 調査	中間調査			知	○	○	○	4	リーディング力を評価する複合問題 ライティング力を評価する複合問題		
11	AIについて「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、ロボット/ペットについて、自分の考えを「話すこと(やりとり)」できる。	Lesson 7 Artificial Intelligence	<ul style="list-style-type: none"> 受け身を学ぶ [L]AIについての概要や要点、必要な情報を聞き取る [R]AIについての発表を読み、概要や要点を把握する [Sや]ロボット/ペットについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを話して伝え合う 	知	○	○	○			12	活動の観察 ワークシート
	AI製品について「話すこと(やりとり)」を通じて学び、推薦するAI製品についての意見を「書くこと」ができる。	Challenge Yourself!	<ul style="list-style-type: none"> [Sや]AI製品について基本的な語句や文を用いて、意見を交換することができる。 [W]AI製品について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを書くことができる 	知	○	○	○				
12	サンタクロースについて「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、信念/サンタクロースを含む人物について、自分の考えを「話すこと(やりとり)」できる。	Lesson 8 Is there a Santa Claus?	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞を学ぶ [L]サンタクロースについての概要や要点、必要な情報を聞き取る [R]サンタクロースについての発表を読み、概要や要点を把握する [Sや]信念/サンタクロースを含む人物について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを話して伝え合う 	知	○	○	○	12	活動の観察 ワークシート		
	プレゼント/ポスターについて「読むこと」を通じて学び、イベントに誘うメールを「書くこと」ができる。	Challenge Yourself!	<ul style="list-style-type: none"> [R]ポスターを読み、概要や要点を把握する [W]ポスターに書かれている情報をもとに、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、メールを書くことができる 	知	○	○	○			9	活動の観察 パフォーマンステスト ワークシート
期末 調査	期末調査			知	○	○	○	4	リーディング力を評価する複合問題 ライティング力を評価する複合問題		
1	ゲルニカに込められた願いについて「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、ゲルニカ/絵を描くことについて、自分の考えを「話すこと(やりとり)」できる。	Lesson 9 Kid's Guernica	<ul style="list-style-type: none"> 分詞/関係副詞を学ぶ [L]ゲルニカについての概要や要点、必要な情報を聞き取る [R]ゲルニカについての発表を読み、概要や要点を把握する [Sや]ゲルニカ/絵を描くことについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを話して伝え合う 	知	○	○	○			12	活動の観察 ワークシート
	アンケートについて「読むこと」を通じて学び、自分が行ったアンケートについて「話すこと(発表)」ができる。	Challenge Yourself!	<ul style="list-style-type: none"> [R]アンケートを読み、概要や要点を把握する [S発]アンケートについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを発表することができる 	知	○	○	○				
2	エンカルファッションについて「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、ファッション/比較について、自分の考えを「話すこと(やりとり)」できる。	Lesson 10 Ethical Fashion	<ul style="list-style-type: none"> 比較表現を学ぶ [L]エンカルファッションについての概要や要点、必要な情報を聞き取る [R]エンカルファッションについての発表を読み、概要や要点を把握する [Sや]ファッション/比較について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを話して伝え合う 	知	○	○	○	12	活動の観察 ワークシート		
	SDGs/エネルギーについて「読むこと」を通じて学び、環境保護に関するエネルギーについて「書くこと」ができる。	Challenge Yourself!	<ul style="list-style-type: none"> [R]SDGs/エネルギーについて読み、概要や要点を把握する [W]エネルギーについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを発表することができる 	知	○	○	○			9	活動の観察 パフォーマンステスト ワークシート
3	坪内逍遙が紹介するシンデレラについて、「読むこと」を通じて学び、自分が知っているシンデレラとの違いについて「話すこと(やりとり)」できる。	Enjoy Reading!	<ul style="list-style-type: none"> 仮定法過去を学ぶ [R]坪内逍遙の紹介するシンデレラを読み、概要や要点を把握する [Sや]シンデレラについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを伝え合うことができる 	知	○	○	○	9	活動の観察 ワークシート		
	道案内の場面で使われる表現を「聞くこと」を通じて学び、道案内の場面を想定しながらペアで「話すこと(やりとり)」できる。	Enjoy Communication!	<ul style="list-style-type: none"> [L]道案内の場面で使われる表現を聞き取る [Sや]道案内の場面を想定しながら、基本的な語句や文を用いて、質問したり、説明したりする。 	知	○	○	○			9	活動の観察 ワークシート
学年末調査				知	○	○	○	6	リスニング力を評価する複合問題 リーディング力を評価する複合問題 ライティング力を評価する複合問題		
				思	○	○	○				
				態							

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、伝え合う技能を身に付けている。	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、話す技能を身に付けている。	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、書く技能を身に付けている。
思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめていく。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を読んで、情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめていく。	日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、要点や意図などを明確にしながらか英語で話し、情報や自分自身の考えなどを伝え合っている。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら英語で話し、情報や自分自身の考えなどを適切に表現している。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら英語で書き、情報や自分自身の考えなどを適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	ア. 日常的话题について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握しようとしている。 イ. 社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えようとしている。	ア. 日常的话题について、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握しようとしている。 イ. 社会的な話題について、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えようとしている。	ア. 日常的话题について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けようとしている。 イ. 社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合おうとしている。	ア. 日常的话题について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝えようとしている。 イ. 社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えようとしている。	ア. 日常的话题について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えようとしている。 イ. 社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えようとしている。

評価の方法	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域において、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
-------	---

担当者からのメッセージ	「担当者による。」
-------------	-----------

令和5年度 家庭 「家庭総合」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 1学年 A組～G組
教科書	家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍）	副教材等	資料集 生活学Navi（実教出版）

1 学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	家庭科の学び方 ホームプロジェクトについて		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭総合の学習方法や評価の観点について学ぶ。 ・ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解する。 ・ホームプロジェクトにつながるよう、生活から課題を見つけることを常に意識する。 	
	5	衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服の管理 ・被服を作る ・これからの衣生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちが被服を着用するに至った社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ・被服の材料や性能、加工について科学的に理解し、被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考える。 ・手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について学ぶ。 ・調理用のエプロンの製作を行う。 ・日常生活で必要な基礎的技能を身につける。 ・資源の消費の視点で自分の衣生活を見直し、次世代に引き継げる衣生活の在り方を考える。 	ワークシート 行動観察 発言内容 実習作品 行動観察 ワークシート 行動観察 発言内容
		6	人生をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭を見つめる ・これからの家庭生活と社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活設計の基本を学習してから、実際に生活設計を行います。そのことを通じて自分自身の生き方を考え、人生のデザインのために何が必要なかを理解する。 ・人生をデザインする際の重要な要素である家族や家庭について、その特徴や労働、法律とのかかわりなど様々な面から学習し、これからの家族や家庭のあり方について考察する。
	7	ホームプロジェクト	期末考査 夏期休業課題	【衣生活をつくる】 【人生をつくる】 <ul style="list-style-type: none"> ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する。 	課題レポート
第2学期	9	持続可能な生活を営む	持続可能な社会を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。 ・エコバッグの製作を行う。 	ワークシート 実習作品 行動観察
	10	経済生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> ・購入・支払いのルールと方法 ・生涯の経済生活を見通す 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解する。 ・生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。 	ワークシート 行動観察 発言内容

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	経済生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の権利と責任 家計をマネジメントする 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者問題を予防し適切に対応できるよう、消費者保護制度について理解する。 生涯を見通して家計をマネジメントする力をつけるため、家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて理解する。 	ワークシート 行動観察 発言内容
	12	共に生き共に支える	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障の考え方 共に生きる 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。 自助・共助及び共助の重要性を学ぶ。 【衣生活をつくる】 【経済生活を営む】 【共に生き共に支える】	ワークシート 行動観察 発言内容
第3学期	1	超高齢社会を生きる	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の心身の特徴 高齢者の自立を支える これからの超高齢社会 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者について、さまざまな実例をもとに、その心身の特徴を具体的に理解する。 現在の高齢者を取り巻く状況がどのようになっているのかを学び、解決すべき課題について考える。 高齢者を想定した介助の体験を行うことを通じて、高齢者の尊厳にふれ、介護についての自分なりに考える。 これからの超高齢社会の課題を理解する。 自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方について学ぶ。 	ワークシート 行動観察 発言内容 実習レポート
	2	住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 住居の機能 安全で快適な住生活の計画 	<ul style="list-style-type: none"> 住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。 防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。 住宅の平面図作成を行う。 	ワークシート 行動観察 発言内容
	3		<ul style="list-style-type: none"> 社会環境と住居 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> 住まいを良くするためには環境とのかかわりが重要であることを理解し、持続可能な住生活とは何かを考える。 【超高齢社会を共に生きる】 【住生活をつくる】	実習レポート

3 評価の観点

知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的な学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

家庭総合では、皆さんの生活すべてのことを教材として扱います。日頃から家庭の仕事に積極的に関わり、自分ですることは自分でするように心がけてください。積極的に授業や実習に参加し、そこで得た知識や技術を日常生活で生かし、より主体的な高校生活を送れることを期待しています。

[注意事項]

- (1) 学習内容によって、移動教室があります。事前の連絡に注意し、遅刻しないように集合してください。
- (2) 提出物の期限は必ず守ってください。
- (3) 大きな事故につながる可能性がありますので、実習用具の取り扱いには注意してください。

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 第1学年 A～G組
教科書	情報Ⅰ 図解と実習	副教材等	なし

1 学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
- (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	導入	コンピュータの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学んだスキルを確認する。 	行動観察
		第1章 情報社会と私たち	第1節 ① SNSの普及とモラル ② 情報社会とは ③ 大切な情報を守るために ④ 情報社会を支える法律 ⑤ 著作権に関する法律 ⑥ 情報通信技術で変わる社会	<ul style="list-style-type: none"> ・情報とものの違いを把握し、情報社会における身近な問題を発見し、解決・改善策を考える。 ・サイバー犯罪や認証技術を把握し、問題点や課題を把握し、改善策を考える。 ・法令遵守、情報モラル、セキュリティ確保の実現に必要な方法を考える。 ・インターネットや携帯端末、AIの利便性と問題点を捉え、よりよい社会生活の実現に向けた方策を考える。 	行動観察 ワークシート 行動観察 ワークシート 実習レポート
	5	第2章 コミュニケーションと情報デザイン	第1節 ① コミュニケーションとメディアの変遷 ② コミュニケーション手段の多様化 ③ インターネット上のコミュニケーションの特性 ④ ソーシャルメディアの活用と注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアや情報技術、コミュニケーション手段の変遷を調べる。 ・コミュニケーション手段の多様化に伴う問題点を把握し、改善策を考える。 ・ソーシャルメディアを活用する際の注意点について理解し、解決・改善策を考える。 	行動観察 ワークシート 実習レポート
	6	第2章 コミュニケーションと情報デザイン	第2節 ① デザインの基本を見てみよう ② 情報デザイン ③ 情報を伝える様々な手段 ④ 誰にとっても分かりやすい情報デザインの工夫 ⑤ 情報デザインの流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報デザインの実例や、情報を伝えるときに意識すべきことを把握する。 ・情報デザインについて問題点や改善例を確認し、情報デザインの役割を理解する。 ・情報を伝える様々な手段のそれぞれの特性について理解し、目的ごとに適した方法があることを理解する。 ・対象を明確化したコンテンツ制作を行う。 	ワークシート 行動観察 ワークシート 行動観察 ワークシート
	7		⑤ 情報デザインの流れ		行動観察 課題分析
			期末考査		
第2学期	9	第2章 コミュニケーションと情報デザイン	第3節 ① デジタルデータと2進法 ② 文字・音のデジタル化のしくみ ③ 画像のデジタル化の仕組み ④ 動画のデジタル化の仕組み ⑤ 圧縮の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルとアナログの特徴を理解する。 ・2進法による表現を理解する。 ・文字や音のデジタル化の仕組みを理解し、その方法を学ぶ。 	行動観察 ワークシート 行動観察
	10	第3章 コンピュータとプログラミング	第1節 ① コンピュータの基本的な構成 ② CPUとメインメモリ ③ CPUの演算のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを構成する基本的な構成を学び、ハードウェアとソフトウェアの役割を理解する。 ・CPUの構造と役割について学び、処理の特性と限界を理解する。 	行動観察 ワークシート 行動観察

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等		
	11	第3章 コンピュータとプログラミング	第2節 ①ものごとの手順とアルゴリズム ②アルゴリズムとプログラム ③プログラムとプログラミング言語 ④プログラムの構造 ⑤プログラムを改善するときの考え方 ⑥プログラミングスタイルの変化	<ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムとは何かを学ぶ。 ・身近な事例について、処理手順を文章、箇条書きやフローチャート、アクティビティ図で表わし、アルゴリズムの基礎を学ぶ。 ・アルゴリズムとプログラミング言語との関係を理解する。 ・プログラミングを基礎から学び、効率的なデータの扱い方やプログラミングをよりよくする方法を考える。 	ワークシート 行動観察 ワークシート ワークシート 行動観察 ワークシート		
	12		第3節 ①モデル化とは ②モデルを利用した問題解決			<ul style="list-style-type: none"> ・モデル化の目的や方法について考え、身近な例を探す。 	行動観察 ワークシート 課題分析
			期末考査				
第3学期	1	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用	第1節 ①情報通信ネットワーク ②③データ伝送のしくみ ④⑤情報セキュリティの重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの基本的な構成を理解し、身近な機器にどのようなものがあるか調べる。 ・プロトコルやその階層構造について理解する。 ・情報セキュリティの重要性について、サイバー犯罪や暗号化の仕組みを通して学ぶ。 	行動観察 ワークシート ワークシート 行動観察 ワークシート		
	2		第2節 ①情報サービスとそれを支えるネットワーク ②データベース ③データの形式とデータモデル			<ul style="list-style-type: none"> ・情報サービスと情報システムの実例や役割を確認し、情報システムとデータベースの関係を理解する。 ・データベースの機能とデータ操作の基本を理解し、身近なところでどのように登録・活用がなされているか調べる。 	行動観察 ワークシート 行動観察 ワークシート
	3		第3節 ①データの収集 ②データの分析			<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトを利用し、量的データや質的データの処理方法を体験的に学習し、関連性や特徴を読み取る手法を理解する。 	行動観察 課題分析
			学年末考査				

3 評価の観点

知識・技能	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識と技能を身に付け、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用している。
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報及び情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>パソコン室は他学年も使いますので、ルールを守り、指導者の指示を聞きながら、授業に臨んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ教室で授業を受ける上での次の重要事項は、コンピュータを操作する上での最低限の約束事です。必ず守ってください。 	
1. 担当者の指示を必ず守ること	6. 勝手に設定を変更しないこと
2. 上履きはパソコン室の下駄箱の中に入れること	7. 外部からのデータ等を使用しないこと
3. 飲食は絶対しないこと	8. 勝手に印刷をしないこと
4. 携帯電話等は教員の指示があった時のみ使用すること	9. ボールペンのみ使用すること
5. 出席番号のパソコンを使用すること	10. 不具合があった場合は、申し出ること